

社会性 報告

ダイヤモンドシティの ステークホルダー

ダイヤモンドシティでは、「お客さま」、「事業パートナー」、「スタッフ」、「株主」等のすべてのステークホルダーの皆さまとの関わりにおいて、「ひとつ上。ひとつ先。」を提供していくことをめざしています。そしてステークホルダーの皆さまへの「プロミス」を明確にし、様々な事業活動の指針としています。

また、「プロミス」に忠実な行動を実行してだけでなく、ダイヤモンドシティから積極的に情報発信し、コミュニケーションしていくことで、ステークホルダーの皆さまからの“信頼”を獲得し、“愛するまち”を、あなたとつくる。”を実現していくことに努めています。

お客さまへの プロミス

ひとつ上。ひとつ先の
満足を提供

買う・観る・遊ぶ・食べる・
話す・知る・磨く・憩う
などの多様な機能を複合した
ダイヤモンドシティならではの
魅力を、ひとつ上の
クオリティで提供する。

事業パートナーへの プロミス

ひとつ上。ひとつ先の
サポートを提供

単なるスペースの提供を超え、
数多くのテナントを持つ強みと
地域密着型施設としての
メリットを生かし、
テナントとは視点の違う
コンサルティングレベルの
サポートを提供する。

「愛するまち」を、あなたとつくる。

スタッフへの プロミス

ひとつ上。ひとつ先の
働く喜びを提供

一人ひとりの意欲と
ビジョンに応え、
働くことに
誇りと喜びを持てる
職場を提供する。

株主への プロミス

ひとつ上。ひとつ先の
投資価値を提供

投資先としての
確実性と成長性、双方を持ち、
またマインド面での
優位を感じられる。

お客さまとともに

ダイヤモンドシティでは、SC施設そのものが安全・安心・快適で、なおかつ、高齢者、ハンディキャップをお持ちの方、お子さまといったすべての方々に快適で使いやすいものでなくてはならないと考え、日々改善を進めています。またSC運営においては、地域の経済・産業・社会の発展に貢献していくため、地域の皆さまと一体となった活動を積極的に行っています。

ユニバーサルデザインへの取り組み

1994年6月の「ハートビル法」施行以来、ダイヤモンドシティが開発したすべてのSCは、ハートビル法の認定建築物となっています。しかし、ダイヤモンドシティでは、高齢者やハンディキャップをお持ちの方だけでなく、訪れるお客さますべての方々に“安全・安心・快適”なショッピングを楽しんで頂くために、環境の整備から対応(サービス)のあり方まで、常に改善を続けており、新規のSC開発においては、これまでのSCにはないものを必ず組み込むこととしています。

最近の取り組みとしては、ユニバーサルデザイン(UD)の理念の導入があげられ、2005年10月10日、熊本にオープンした「ダイヤモンドシティ・クリア」では、商業施設では日本初となる本格的なユニバーサルデザインを導入しました。

また、ユニバーサルデザインの導入以外でも、お客さまの安全に配慮し、施設内の安全対策強化を進めています。まず、建物内においては、すべてのSCにおいて、落下防止柵の設置やモールの手すりの高さを法令で定められた基準より高くしました。また、駐車場等の建物外の部分では、不用意な事故の発生を抑えるため、お客さま通路(歩道)の確保や十分な車路幅とすることによる視界確保、見やすいゾーンサインの設置等を実施しました。

◆「ダイヤモンドシティ・クリア」の主なユニバーサルデザイン(UD)

生活空間におけるUD	使いやすさ、わかりやすさにこだわった居心地のよい安心空間デザイン
トイレ	お客さま一人ひとりが自分に合ったトイレを選べるように、子どもブース、パウダーコーナー、引戸、折戸、音声誘導装置付きなど、様々なタイプのトイレを用意 写真-A
休憩スペース・カートロッカー	少しの待ち時間でもゆったりくつろいで頂くために、スペースとソファを用意。また、カートロッカーを各トイレ近くに配置。 写真-B
インフォメーション	丸い形、2種類のカウンターの高さとすることで、誰でもどこからでも声をかけやすいように配慮 写真-C
空間デザインにおけるUD	お客さまの不安や不満を解消する機能的デザイン
モール	歩いていて疲れにくいカーペット仕様と、モール両サイドに大判タイル貼りに加え、車椅子、ベビーカー等の負担軽減を両立
駐車場	平面駐車場に車椅子庫(屋根付き有り)、幅広車室、高齢者向け車室などを加え、車室のバリエーションを拡大 車椅子車室については、健康者の駐車を抑制する装置を設置
フードコート	お子さま、車椅子の方にも使いやすい洗面台を設置 バリエーション豊富なイス、テーブルを設置
サイン系におけるUD	目的地までスムーズに誘導し視認が容易なデザイン
サイン	お客さまを目的地までスムーズに誘導できるよう、壁一面を使い目線で視認できるように配慮 耳の不自由な方に文字情報で伝える電光掲示板を設置 写真-D
インフォメーション	施設中心部に位置していて、回転式 [?] サインや照明効果により遠くからでも見つけやすいように配慮 写真-C
フードコート	各店舗に数字を振り分けることで、料理の受取などもわかりやすくなるように配慮
機械系におけるUD	より安全で快適なショッピングをサポートするデザイン
エレベーター	UD対応機種と身障者機種の2種類とするだけでなく、腰掛けられる手すりを配置 写真-E
カート、車椅子	様々なタイプのカート、車椅子を用意

A-洗面・パウダーコーナー



B-休憩スペース



C-インフォメーション



D-見やすい壁一面のサイン



E-エレベーター内



ハートビル法とは、ご高齢者、ハンディキャップをお持ちの方々などが円滑に利用できる特定建築物の建築に関する法律です。1994年の「ハートビル法」施行以来、開発されたSCは、すべてハートビル法の認定建築物となっています。



ハートビル法
認定建築物

防犯対策・青少年非行防止対策

SCは多くの人が集まり賑やかな場である反面、犯罪、騒音、ごみ問題など、反社会的な問題が発生する場にもなりかねません。こうした地域の社会問題に対し、「ダイヤモンドシティ・アルル」では、防犯マニュアルの作成や定期的な防犯訓練の実施等テナントの皆さまと一体となった取り組みを実施しています。また、SC敷地内に派出所を誘致し地元警察との日常的な連携を図るとともに、イベント開催時には、防犯対策・青少年非行防止対策について事前の情報交換を実施し、その撲滅に努めています。

写真-F

お客さまとの コミュニケーション

ダイヤモンドシティでは、お客さまの声をサービスや施設、CSR活動の改善につなげていくため、「ご意見承りBOX」やインフォメーションの設置、介添えサービス、テナントとの情報交換等を実施しています。このようにして寄せられた声をもとに、特に最近では、車椅子の方でももっと気軽に相談できるようインフォメーションカウンターの高さを低くしたり、駐車場内の案内表示を分かりやすくするなどの改善に努めています。また、2006年4月には、「ダイヤモンドシティ・クレア」において、ユニバーサルデザインに関し、敷地内のいたるところで、スタッフが直接お客さまの声を聞く形でのアンケートを実施しました。

写真-G

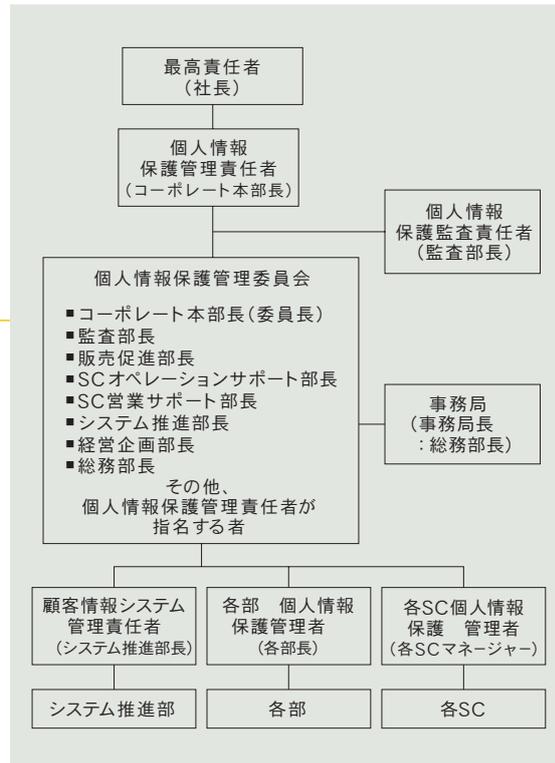
F-「ダイヤモンドシティ・アルル」敷地内派出所



G-ユニバーサルデザインに関するアンケート調査



◆ ダイヤモンドシティ個人情報保護体制



個人情報保護への取組の強化

2005年4月より、個人情報保護法が全面施行されました。これにあわせダイヤモンドシティでは、同法に準拠した形で、社内体制の強化、規程や運営マニュアルの再整備、情報管理システムの更新、ダイヤモンドシティカード会員の方々への会員情報取り扱いに関するお知らせ等を実施してきました。

これらと同時に、個人情報保護の実効性を高めるため、SCの開発・管理・運営を行う事業者としての特性を踏まえた上での取り組みも実施しています。特に、ダイヤモンドシティカード会員の方々の個人情報の管理においては、社内関係部門との連携および情報管理方法の明文化や個人情報関連Q&Aを作成するなどして、その実効性の向上を図っています。また植樹祭・育樹祭への参加者や「応募方式抽選会」当選者など、業務特性に合わせた個人情報の管理・監査を明確化し、その徹底を図っています。

この他、外部委託業者との個人情報の取り扱いに関する契約締結、テナント各社が独自で入手する個人情報の管理に関し、その注意喚起を促す活動などを推進しています。

地域の“まち”づくりへの協力

これまでダイヤモンドシティでは、地域の社会インフラの充実に貢献していくため、SC内に行政サービス(役所・警察等)や郵便局、銀行(ATM設置を含む)、医療機関等といった“まち”機能の導入を積極的に進めてきています。例えば「ダイヤモンドシティ・ハナ」に設置されている「メディカルプラザ京都」では、内科・眼科・歯科・調剤薬局の連携により、SC内でありながら総合医療の提供が行われています。 **写真-A**

また最近では、小さなお子さまの教育やお母さん、お父さんの充実した生活をサポートすべく、学童保育や託児所のSC内への導入に力を入れています。「ダイヤモンドシティ・ルクル」および「ダイヤモンドシティ・クレア」では、学童・託児所「エデュモール」にテナントとして出店頂いています。「エデュモール」は、10分単位、予約なしのシステムとなっており、お客さまだけでなくSCで働かれている方々をしっかりとサポートしています。 **写真-B**

さらに、すべてのSCにおいては、テナントの皆さまとともにSC周辺の清掃活動を定期的(多くが毎月11日)に実施しています。地域の自治体、警察、教育機関などの皆さまとともに、様々な地域貢献活動を実施しています。

「ダイヤモンドシティ・プラウ」の音楽イベント

「感動ライフソリューションSC」をコンセプトとする「ダイヤモンドシティ・プラウ」では、まちと暮らしに花を咲かせるショッパーテイメント空間となることを願い、様々なイベントを実施しています。中でも音楽イベントは、回数・頻度・内容すべての面において大変充実したものとなっています。

土曜日にはプロピアニストによる演奏、日曜日には地元の音楽大学の学生による演奏が、1階ウエルカムコートにおいて毎週定期的実施されています。また、アーティストによるライブも不定期ではありますが実施しており、地域の暮らしを音楽からも彩っています。 **写真-C**

A- メディカルプラザ京都



C- ピアノコンサート



B- 託児所



D- 献血



◆「ダイヤモンドシティ・プラウ」の2006年2月期の主な地域貢献活動

タイトル	実施期間	内容
クリーン活動	毎月11日	SC周辺を朝9時から30分間、20名にて実施
全社統一募金活動	不定期	ユニセフ、災害地域、盲導犬など、全社統一での募金活動
大阪府立花の文化園「写真」展	4月9日～17日	花の文化園で期間中に咲いている花の写真をパネルにて展示
ジャズライブ	5月1日	市の職員によるジャズライブ (依頼元: 堺市教育委員会)
エコライフキャンペーン	6月15日	リサイクルグッズを中心にエコグッズの利用促進のためのPR活動 (依頼元: 堺市環境局)
ブラックイルミネーション2005	6月19日	地球温暖化防止のためのCO ₂ 削減ライトダウンキャンペーン (依頼元: 環境省地球環境局、イオン株式会社)
大和川「河川愛護月間」キャンペーン	7月1日	1階センターコートにて河川愛護のPR活動 (依頼元: 堺市環境局)
献血	7月16日、8月28日	交通広場前に移動献血車の駐車スペースを提供 (依頼元: 大阪府南大阪赤十字センター) 写真-D
和歌山県田辺市観光PR	8月27日、28日	新生田辺市のPR活動と田辺市長による挨拶 (依頼先: 田辺市)
松原徳州会病院医療講演会	年3回 (不定期)	医療講演を3階プラウホールにて実施
堺市政令指定都市決定告知 (懸垂幕) 設置	10月21日～11月30日	堺市政令指定都市閣議決定の告知のための懸垂幕の設置 (依頼元: 堺市指定都市推進部)
地域の幼稚園・保育園のお披露目会	10月19日	周年祭として地域の幼稚園・保育園児による合唱や鼓笛の演奏 (参加園: あさか保育園、ときわ保育園、宝珠学園幼稚園)
中学生による職業体験学習	10月27日、28日	堺市立金岡北中学校の生徒の皆さんが、小売とは何かを学習するための実地体験に協力
Heart to you キャンペーン	11月9日からスタート	車椅子駐車場の適正使用をめざす Heart to you キャンペーンを紹介
人権週間による人権啓発	12月6日 (年1回)	敷地内建物外で人権啓発メッセージの入ったティッシュを配布 (依頼元: 堺市人権指導課)
110番の日	1月10日	堺東警察によるPR活動 (依頼元: 堺東警察地域総務課)

地元取引、地産地消の推進

テナントの誘致にあたり、当地初のナショナルチェーン店を誘致することは、話題性も高く集客力を高める効果が期待できます。しかし、ダイヤモンドシティでは、地域とより密着しながら中長期的な成長を果たしていくため、SCコンセプトに相応しい地元企業の誘致にも力を入れています。そのため現在は、今まで以上に情報収集力の強化を図り、地元企業の出店誘致を強化しています。

また、地元の経済活性化のため、地産地消への取り組みにも力を入れています。特に、食料品を取り扱う核テナントであるジャスコでは、多数の地元の生産物の販売やそれらのPR活動を展開しています。また、ダイヤモンドシティとしても、地元農水産物関連団体への協力等を通して、地産地消の推進を行っています。例えば、「ダイヤモンドシティ・アルル」では、年1回、奈良県農政課主催の「奈良のお米『ひのひかり』消費拡大キャンペーン」に積極的に協力しています。この他、2005年度の株主優待として、「ダイヤモンドシティ・クレア」の新規オープンに因み、熊本県の名産品を優待商品として用意させて頂き、好評を博しました。

地域防災への協力

ダイヤモンドシティの8つのSCは、災害時の避難場所等の提供を行うなど行政との防災協定を締結する予定で進めています。また、すべてのSCにおいて災害時やその他の緊急時に備えた地下水の確保や、必要な物資(水、食料品等)の提供についてもテナントの方々と協同で行うこととしています。この他、地元消防署等と協力し、パンフレットの配布、ポスターの展示、各種イベントへの協力等を行っています。

イオン1%クラブ

イオングループが推進する「イオン1%クラブ」では、「環境保全」「国際的な文化交流・人材交流」「地域の文化・社会の振興」をテーマとした各種活動に取り組んでおり、ダイヤモンドシティでも税引前当期純利益の1%を事業費として毎年拠出しています。

2005年度実績	6,828万円
----------	---------



◆ 2006年2月期の募金活動

	実施期間	募金金額	募金先
＜社会・地域社会支援募金＞			
「インド洋津波災害下のこどもたちのために」復興支援募金 ☆	2005年4月1日から5月22日まで	1,724,850円	財団法人日本ユニセフ協会
盲導犬育成支援募金 ☆	2005年10月1日から11月30日まで	484,307円	全国盲導犬施設連合会
24時間テレビ「愛は地球を救う」募金 ☆	2005年7月29日から8月31日まで	1,933,007円	「24時間テレビ」チャリティー委員会事務局
クリスマスチャリティ募金 (チャリティオークション、チャリティ販売等含む)	2005年11月25日から12月25日まで	2,640,116円	財団法人日本ユニセフ協会 写真-EF
＜環境保全支援募金＞			
「世界自然遺産 知床の森を守ろう!」キャンペーン募金 ☆	2005年11月25日から12月25日まで	42,686円	知床国立公園内森林保全基金
＜緊急支援募金＞			
米国ハリケーン「カトリーナ」災害支援募金 ☆	2005年9月6日から9月20日まで	980,098円	在日米国大使館
パキスタン・インド地震緊急被災者支援募金 ☆	2005年10月9日から10月30日まで	1,091,977円	ジャパン・プラットフォーム (JPF)

☆印は、イオングループとして実施した募金活動です。募金金額は、すべてダイヤモンドシティのみの金額です。